



学校だより

かけはし ～学校評価(中間評価)臨時号～

令和4年9月発行

津幡町立井上小学校



令和4年度中間期の学校評価として、児童・保護者・教職員アンケートをもとに学校自己評価を行いました。7月に実施いたしましたアンケートの結果や自己評価の結果を含めて、今後の取組についてお知らせいたします。また、8月下旬に行われた「学校評議員会」で話し合われたこともあわせてお伝えします。今後の取組を進めるにあたっては、ご家庭のご協力をお願いしなければならないものもございます。本校の教育活動をご理解いただき、一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

校訓
学校教育目標
目指す児童像

至誠 勤労 規律
自立する子・「合い」ある子の育成

◆自分で学ぶ子 ◆他と関わる子 ◆健康である子

今年度の重点目標(学校評議員会でも話し合われました)

I. 学力向上と授業力向上を目指して

《育む力》

- ①自分の考えを根拠や筋道を明確にして表現する力を育む。
- ②児童同士が意見をつなげ、意欲的に授業に取り組む態度を養う。
- ③英語によるコミュニケーションの素地を育む。
- ④一人一台端末(chromebook)の基本動作を身に付け、活用する力を育む。

《結果と分析》(「育む力」の番号に対応)

- ①概ね良い傾向にあるが、しっかり表現できる児童は多くはない。
- ②良い傾向にある。しかし、児童が「～したい」と感じる授業については課題がある。



- ③一つ一つ活動のねらいを児童に意識させることはできたものの、評価のありかたに課題が残った。
- ④一人一台端末(chromebook)については、意欲的に活用させることができた。

《今後の取組》(「結果と分析」の番号に対応)

- ①行事等、表現力育成に向けた活動対象を広げ、表現力の育成に努める。
- ②山場を意識し児童のつながりを大切にした授業を行い、児童の「～したい」という意欲を引き出す授業設計を立てる。
- ③確かなデータに基づいた評価が行うことができるよう、学習の状況をしっかり見取るとともに、一人一人の成長を把握し、確かなデータに基づいた評価を行う。
- ④教師自身もより一層効果的に活用できるよう自己研鑽に励む。

II. 人間性の向上と社会性の育成を目指して

《育む力》

- ①自分が考える「よりよい姿」について、客観的に自分で気づき、判断し、行動する力を育む。
- ②コミュニケーション力を高め、自己有用感の向上を目指す。

《結果と分析》(「育む力」の番号に対応)

- ①機会を見て、その都度考えさせる場を設けることはできたが、「自分から進んで行く」「自分事としてとらえる」という部分については課題がある。
- ②良い傾向にある。今後もこの取組を継続し、一人一人の課題に目を向け粘り強く取り組んでいく。

《今後の取組》(「結果と分析」の番号に対応)

- ①児童会を一層活性化させ、自治の精神を推進していく。
- ②継続していく。



III. 健康・安全教育の充実を目指して

《育む力》

- ①感染防止等、新しい生活様式を取り入れた行動の定着を目指す。
- ②体育の授業を中心に、児童の実態に合わせた体力の向上を目指す。

《結果と分析》(「育む力」の番号に対応)

- ①言われたことはできるが、「自分から進んで行く」という部分については課題がある。
- ②各学年の課題改善を意識した運動に取り組んでいるが、目に見える成果は表れていない。

《今後の取組》(「結果と分析」の番号に対応)

- ①自分の健康や安全のため必要と感じるまで指導を粘り強く真剣に繰り返す。一人残さず全員100%を目指す。
- ②感染・熱中症対策を優先しつつも、少しでも目に見える成果が表れるよう、継続して改善に取り組む。

